

戦略2 地域産業イノベーションを創出する機能の強化

取組2 COC・COC+事業を通じた地域創生への貢献

本学では、「地（知）の拠点整備事業（COC事業）」・「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」を通じ、地域密着型研究センターやCOCサテライト拠点を中心としたリカレント（社会人の学び直し）教育プログラム（履修証明プログラムなど）の開講によって、「地域及び地域産業に関する専門的知識・技術を有し、地域活性化のリーダーになれる人材」「地域の活性化や保全に係われる人材」（地域専門人材）を育成するとともに、社会人を大学院修士課程へ受け入れ、より高度な知識・技術を有する「地域高度専門人材」として育成し、「ひとづくり」に貢献します。

関連する中期計画

地域連携ネットワークを充実させるため、県内の自治体・各種団体・企業・他大学との間で、新たに10件以上の連携協定を締結する。

地域及び地域産業に関する専門的知識・技術を有し、地域活性化のリーダーになれる人材である「地域専門人材」を育成するため、第2期中期目標期間に引き続いてリカレント教育プログラムを開講し、第3期中期目標期間中に1,200人以上の受講生を輩出する。

教職員の地域志向を高めるため、社会連携系職員養成プログラムを拡充し、第3期中期目標期間中に150人以上の受講者を輩出する。

図書館やミュージアム、COCサテライトオフィス等の学内外施設を活用して、シンポジウムやセミナー、市民講座、展覧会等を毎年100回以上主催し、教育研究の成果を地域に発信する。